

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社  
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長

(氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 平成24年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,023	△17.0	4	△84.6	5	△81.2	2	△85.5
24年3月期第1四半期	1,233	99.7	26	—	27	—	15	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	42.05	—
24年3月期第1四半期	289.08	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,653	2,905	62.4
24年3月期	4,976	3,002	60.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 2,905百万円 24年3月期 3,002百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	900.00	900.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,170	△31.1	△4	—	△3	—	△1	—	—
通期	5,542	△7.1	234	△12.8	238	△13.4	142	△7.1	2,606.03

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りと区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	55,000 株	24年3月期	55,000 株
25年3月期1Q	511 株	24年3月期	511 株
25年3月期1Q	54,489 株	24年3月期1Q	54,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）財政状態に関する定性的情報	3
（3）業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）四半期キャッシュ・フロー計算書	8
（4）継続企業の前提に関する注記	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
（1）生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、欧州の債務問題や電力供給問題等の懸念から依然として先行き不透明な状況にあるものの、東日本大震災からの復興需要等を背景に、緩やかな持ち直しの兆しが見られました。

当社はこのような状況の下、V字回復した前事業年度に対し、装置部門の売上が前年同期比で減収となったものの、アルファフレーム部門及び商事部門の売上高は堅調に推移し、全社業績予想に対し売上高は順調に推移しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は、1,023百万円(前年同期比17.0%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は4百万円(前年同期比84.6%減)、経常利益は5百万円(前年同期比81.2%減)、四半期純利益は2百万円(前年同期比85.5%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、「アルファフレームシステム」の拡販ツールである「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した付加価値の高いアルミニウム製構造物材として、競合他社と差別化を図った提案営業を継続的に展開いたしました。その結果、設計・組立工数削減の効果を活用される顧客が増え始め、特に自動車部品製造設備向け案件においては、継続的に受注を確保いたしました。また、「カクチャ™」及び「マーキングシステム™」を活用した大型構造物案件の受注も確保し、売上高は伸長いたしました。

なお、半導体及びフラットパネルディスプレイ業界は依然として低迷しております。同業界への販売は伸び悩み状態であり、回復までには時間がかかるものと思われまます。

この結果、当部門の売上高は366百万円(前年同期比17.3%増)となりました。

#### [装置部門]

装置部門におきましては、当社の技術力を活かした質の高いFA装置(FA:Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。)の提案活動を推進いたしました。特に海外拠点での生産強化を図る傾向を強めている自動車業界において、自動車部品製造企業より部品洗浄装置を中心としたFA装置等の受注は堅調に推移いたしました。特に、洗浄装置についてはお客様より高い評価を獲得し、継続的な受注が見込まれております。

なお、前年同期には大型機械設備案件の売上がありましたが、当第1四半期累計期間は同様案件の受注活動や遂行の期間となったため、売上高は前年同期比で減少いたしました。但し、当事業年度の業績予想に対し、当部門の売上高は計画どおり推移しております。

この結果、当部門の売上高は341百万円(前年同期比48.9%減)となりました。

#### [商事部門]

商事部門におきましては、工業用砥石、油脂類、工具・ツール等の消耗品の受注が堅調に推移し、また、機械部品、自動車部品製造関連企業より複数の生産機械設備の受注を確保したことにより、売上高は伸長いたしました。なお、前事業年度から引き続き消耗品等の受注は堅調であり、関連する生産機械設備投資の引合いも活発化しております。

この結果、当部門の売上高は315百万円(前年同期比25.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ322百万円減少し4,653百万円となりました。これは主に、現金及び預金が201百万円、受取手形及び売掛金が200百万円、それぞれ減少した一方で、仕掛品が35百万円、原材料及び貯蔵品が46百万円、それぞれ増加したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ225百万円減少し1,748百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が75百万円、未払法人税等が111百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ97百万円減少し2,905百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上があったものの、配当金の支払いが発生したことにより、利益剰余金が63百万円減少したことと、投資有価証券の時価評価により、その他有価証券評価差額金が34百万円減少したことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末と比べ201百万円減少し、858百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の28百万円のキャッシュ・インに対し、当四半期累計期間は123百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、売上債権の減少による資金の増加額200百万円があった一方で、たな卸資産の増加による資金の減少額88百万円、仕入債務の減少による資金の減少額75百万円や、未払消費税等並びに未払法人税等の支払いによる資金の減少額167百万円などの資金の減少があったことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の12百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は18百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは、有形固定資産の取得による支出が7百万円、無形固定資産の取得による支出が3百万円、保険積立金の増加による支出が5百万円それぞれあったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期累計期間の38百万円のキャッシュ・アウトに対し、当四半期累計期間は58百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは配当金の支払いによる支出であります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年5月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,063,305	862,043
受取手形及び売掛金	1,628,426	1,428,188
商品及び製品	127,334	134,019
仕掛品	181,276	216,661
原材料及び貯蔵品	213,857	260,379
その他	60,540	86,874
貸倒引当金	△153	△132
流動資産合計	3,274,587	2,988,034
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,443,349	1,443,649
減価償却累計額	△882,317	△890,873
建物（純額）	561,031	552,776
土地	456,904	456,904
その他	620,092	626,457
減価償却累計額	△449,529	△456,750
その他（純額）	170,562	169,706
有形固定資産合計	1,188,498	1,179,387
無形固定資産	18,856	19,272
投資その他の資産		
その他	496,114	468,424
貸倒引当金	△1,600	△1,600
投資その他の資産合計	494,514	466,824
固定資産合計	1,701,869	1,665,484
資産合計	4,976,456	4,653,519
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,433,320	1,357,405
未払法人税等	112,876	1,718
賞与引当金	39,322	57,888
製品保証引当金	21,417	18,053
その他	175,043	127,172
流動負債合計	1,781,979	1,562,237
固定負債		
退職給付引当金	133,002	131,500
その他	58,562	54,655
固定負債合計	191,564	186,156
負債合計	1,973,544	1,748,394

（単位：千円）

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	2,670,230	2,607,135
自己株式	△34,410	△34,410
株主資本合計	2,938,020	2,874,924
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,892	30,200
評価・換算差額等合計	64,892	30,200
純資産合計	3,002,912	2,905,125
負債純資産合計	4,976,456	4,653,519

（2）四半期損益計算書  
第1四半期累計期間

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）	当第1四半期累計期間 （自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）
売上高	1,233,133	1,023,653
売上原価	991,896	810,649
売上総利益	241,237	213,004
販売費及び一般管理費	214,615	208,899
営業利益	26,621	4,104
営業外収益		
仕入割引	642	723
その他	501	395
営業外収益合計	1,144	1,119
営業外費用		
売上割引	—	29
手形売却損	143	—
その他	31	—
営業外費用合計	175	29
経常利益	27,589	5,194
特別利益		
受取保険金	4,387	—
特別利益合計	4,387	—
特別損失		
固定資産除却損	4,209	—
特別損失合計	4,209	—
税引前四半期純利益	27,767	5,194
法人税、住民税及び事業税	2,426	987
法人税等調整額	9,588	1,915
法人税等合計	12,015	2,902
四半期純利益	15,751	2,291

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	27,767	5,194
減価償却費	20,804	20,086
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	△20
賞与引当金の増減額(△は減少)	△19,703	18,565
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,043	△1,501
製品保証引当金の増減額(△は減少)	3,630	△3,364
受取利息及び受取配当金	△168	△148
手形売却損	143	—
固定資産除却損	4,209	—
売上債権の増減額(△は増加)	△242,470	200,196
たな卸資産の増減額(△は増加)	△118,116	△88,592
仕入債務の増減額(△は減少)	315,714	△75,914
未払消費税等の増減額(△は減少)	12,739	△55,167
その他	27,926	△31,182
小計	35,550	△11,849
利息及び配当金の受取額	90	89
手形売却に伴う支払額	△143	—
法人税等の支払額	△6,611	△111,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,885	△123,660
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,530	△7,896
無形固定資産の取得による支出	△2,626	△3,500
投資有価証券の取得による支出	△1,200	△1,200
保険積立金の積立による支出	△5,754	△5,754
その他	—	△421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,111	△18,771
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△38,802	△58,829
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,802	△58,829
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△22,028	△201,261
現金及び現金同等物の期首残高	284,885	1,059,305
現金及び現金同等物の四半期末残高	262,856	858,043

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

当第1四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	生産高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	372,268	118.1
装置部門	341,800	51.1
合計	714,069	72.6

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ② 商品仕入実績

当第1四半期累計期間における商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	品目	仕入高（千円）	前年同四半期比（%）
商事部門	工業用砥石	42,739	100.9
	機械設備	128,361	553.7
	工具・ツール・油脂類	102,247	66.8
合計		273,348	125.0

(注) 上記の金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 受注実績

当第1四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高（千円）	前年同四半期比（%）	受注残高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	280,416	90.0	56,292	150.1
装置部門	270,543	16.7	200,044	11.2
商事部門	261,852	105.4	266,525	238.9
合計	812,812	37.3	522,862	27.0

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

###### ④ 販売実績

当第1四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高（千円）	前年同四半期比（%）
アルファフレーム部門	366,154	117.3
装置部門	341,800	51.1
商事部門	315,698	125.2
合計	1,023,653	83.0

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当1四半期累計期間		
	販売高（千円）	割合（%）	前年同四半期比（%）
株式会社不二越	155,028	15.1	204.4
サンコー商事株式会社	133,651	13.1	698.8

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。